

平成24年度 施策達成度評価シート (平成23年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
3	心がつながる相互理解	33	多様な国際交流・地域間交流の推進

施策主管部	市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-------	-----	------------------	------------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 市内外の外国人 連携市町村民	相互理解が図られる

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
アンケート調査 「この1年間で国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	%	↗	3.60	4.00	3.80	5.00	7.00
盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)	人	↗	151	190	160	200	220
盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)	団体	↗	18	19	18	20	25
地域間交流イベントの参加者数	人	↗	180	184	208	190	194

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
アンケート調査 「この1年間で国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	平成22年度:3.6% 平成23年度:3.8%0.2パーセント上昇
盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)	22年度末 盛岡市 151人 八戸市 243人 郡山市 295人 23年度末 盛岡市 160人 八戸市 181人 郡山市 217人
盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)	22年度末 盛岡市 18団体 八戸市 58団体 郡山市 97社 23年度末 盛岡市 18団体 八戸市 57団体 郡山市 96社
地域間交流イベントの参加者数	比較データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)盛岡国際交流協会の事業について、市内の国際交流に関する関係機関、団体及びボランティアとメールリストを活用し情報の収集・提供を行い各種機関や団体との情報交換を進めた。 ・ビクトリア市との姉妹都市提携25周年を記念し作成した「盛岡ミューラル」を盛岡歴史文化館へ展示した。 ・ビクトリア市長から「ビクトリア市制150年記念式典に招待を受けた。 ・当市の姉妹都市提携のきっかけとなった、新渡戸稲造の生誕150周年を記念し財団法人新渡戸基金を中心に関係団体で実行委員会を組織し、平成24年に記念事業の実施を決定した。 ・秋田岩手地域連携推進事業では、大規模災害時相互応援協定を改定したところであり、東日本大震災における物資の提供に有効に機能した。
翌年度以降の課題、その要因	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)盛岡国際交流協会の第2次計画に基づき、事業評価を検証しながら事業のスクラップアンドビルドに積極的に取り組む。 ・被災者支援事業を一つに位置づけ、被災者のニーズを把握し継続し長期にわたり支援していかなければならない。 ・ビクトリア市制150周年を記念し、30万市民を代表し市長一行がビクトリア市を訪問し、ビクトリア市民と一緒に祝う。 ・今後も、さらに多くの市民に国際交流について理解を深めていただくとともに、各種事業への参加機会を増やすことにより、「人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」を目指す。 ・地域間交流は行政主導より、民間セクターが主導的役割を發揮することが効果的であることから、多様な民間が参入可能な環境づくりに努める必要がある。 ・横軸連携は大規模災害時相互応援協定を定め、東日本大震災における物資の提供に有効に機能するなど連携の成果を上げているが、縦軸連携については水質調査や河川清掃等により一定の成果を上げている部分もあるが、北上川の流域市町村が連携することによる効果が十分發揮されていない。連携の意義も含め事業のあり方をゼロベースで検討する必要がある。

4 成果達成への基本事業の貢献度

基本事業		比重
コード	名称	
331	国際交流事業の推進	60
332	地域間連携の推進	40

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
3	心がつながる相互理解	33	多様な国際交流・地域間交流の推進
基本事業			
コード	名称		
331	国際交流事業の推進		

施策主管部	市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-------	-----	------------------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 市内外の外国籍市民	国際交流が活発に行われる 外国籍市民に盛岡を知ってもらおう

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
アンケート調査 「この1年間で国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	%	↗	3.60	4.00	3.80	5.00	7.00
盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)	人	↗	151	190	160	200	220
盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)	団体	↗	18	19	18	20	25

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	民間の国際交流団体と協力し, 国際理解講座等を実施し文化や習慣の違いなどに触れる場を提供した。また, 震災に関する情報提供, 外国籍市民への相談等を行うなど外国籍市民の生活環境の整備しなければならない。	35
	国・県・ 他自治体	外国籍市民を地域住民として「地域を支える主体」と認識し, 多文化共生の地域づくりを推進している。	15
	市民・NPO	国際交流は民間団体・市民が主体となって進めた。多様な交流, 活動を通して多文化共生への理解が深まり広い視野を持つことができた。	40
	企業・その他	国際交流は企業等の協賛協力により民間団体が主体となって進めた。盛岡で生活し盛岡に就職を希望している留学生の就職についても視野に入れながら交流, 活動していくことが必要である。	10

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
3	心がつながる相互理解	33	多様な国際交流・地域間交流の推進
基本事業			
コード	名称		
332	地域間連携の推進		

施策主管部 市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-----------	------------------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 連携市町村民	地域間の民間交流が活発に行われる

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
地域間連携・交流事業数	件	↗	13.00	13.00	9.00	13.00	17.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	連携・交流については、行政だけでなくNPO・市民の参画を得ながら進める必要がある。	25
	国・県・ 他自治体	協議会構成団体との連携により進めるものであり、関係自治体の協力が必要となる。	25
	市民・NPO	連携・交流については、NPOにおける同様の取り組みも進められていることから、行政と民間団体の連携が必要となり、民間団体の果たす役割は大きい。	50
	企業・その他		